

光陰矢の如し・・・年末までがんばって行きましょう♪

# ほっとぶれいく通信

【制作・発行】販売力強化実践会  
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-45 (小林印刷株式会社内)  
TEL: 092-411-2246 FAX: 092-474-2433  
編集人: 小林久子

※この媒体は販売力強化実践会が発行しております。

今年の福岡の夏は、皆様いかがお過ごしだったでしょうか？湿度が高く、暑い日々でしたね。昨今、めっきり秋らしくなり、寒暖の差が激しくなってきました。皆様、風邪にはどうぞお気を付け下さいね。

さて、夏の祭典第30回ロンドンオリンピックは8月12日、閉会式が行われ、17日間にわたって繰り広げられたスポーツの祭典が幕を下ろしました。日本が獲得したメダル総数は史上最多の38個で、金メダルは減りましたが、新競技でのメダル獲得もあり、日本選手の頑張りや素晴らしい活躍を誇りに思っています！



編集長コラム

先月より、当社においてボールペンの名入れを始めましたのでご覧の皆様にお知らせです。

当社は、販促ツールの一環としてボールペンの名入れも取り扱う事になりました。三菱鉛筆さんの油性ボールペンブランド「ジェットストリーム」です。このブランドは、先日ヤフーニュースでも経済面で取り上げられたほど売れ行き絶好調のボールペンで、これまでの筆記具には使用されなかつた、低粘度で潤滑性の高い溶剤を新たに使用。

筆記具の摩擦係数を約半分に低減し、究極のなめらかさを実現したブランドです。

既存のお客様への定期訪問や、新規先への挨拶回りなどにぜひ活用されてみてはいかがでしょうか？

☆ジェットストリームのポイント  
①クセになるなめらかな書き味  
②くっきりと濃い描線  
③優れた速乾性  
④インクの逆流・逆流を防止

名入れは、1色、2色、カラーで入れる事ができます。数量は300本からです。

サンブルが必要の方は、小林印刷(株)  
TEL 411-2246  
ボールペン名入れサンブル希望とおっしゃって戴ければ、すぐお持ちさせて頂きます♪  
お気軽にご相談下さいませ♪



既存のお客様への定期訪問や、新規先への挨拶回りなどにぜひ活用されてみてはいかがでしょうか？

☆ジェットストリームのポイント  
①クセになるなめらかな書き味  
②くっきりと濃い描線  
③優れた速乾性  
④インクの逆流・逆流を防止

名入れは、1色、2色、カラーで入れる事ができます。数量は300本からです。

サンブルが必要の方は、小林印刷(株)  
TEL 411-2246  
ボールペン名入れサンブル希望とおっしゃって戴ければ、すぐお持ちさせて頂きます♪  
お気軽にご相談下さいませ♪

こぼぶり  
HOT NEWS

1、2回目と、色とは何かについての基本的な説明をしたけど、日本においては、色についての様々な歴史があるんだよね。

古来、日本人は四季の移ろい姿に風流さ、美を感じ楽しんできた。平安時代には、季節毎の自然の色を「十二単」などの着衣に反映させる「襲(かさね)の色目」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ



販促アドバイザー  
豆子が行く!  
volume.3

3回目、日本における色の使い方  
こころの解説をするよ。

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

Band 情報!!  
西区福重。  
「カワムラバンド」  
をご存知ですか?

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

「豆子が行く!」という習慣も生まれ、7世紀頃には、紫を頂点に官位毎に着用する色を決めた「冠位十二階」の制度ができたんだ。これは、中国から伝わった「五行説」に色を結びつ

印刷豆知識  
corner  
印刷の歴史 第1回

印刷の歴史として、東アジアでは、2世紀頃に中国で紙が発明され、7世紀頃には木版印刷が行われていたといわれ、また11世紀には陶器による活字を使った印刷が行われていた。金活字による印刷は13、14世紀の朝鮮半島の文化に表れています。

現存する印刷物で、製作年代がはっきりと判明している世界最古のものは、日本の奈良時代(710-794)の「西宮御厨の御厨券(みくらのごくわん)」であり、鎮西の長門を祈願するために、百万の小塔に陀羅尼を納めて、仏教寺院に奉納されたものです。日本の最古の印刷物はこれです。

ヨーロッパにおいては、1460年頃のヨハネス・グーテンベルクによる金属活字を用いた活版印刷技術の発明で、印刷が急速に広まりました。グーテンベルクの発明から1500年以前までに印刷された書物は、インキュナバ(擬監本、初期刊本と呼ばれ、これも貴重書であったため莫大な古書価値をもちます)であった。

当時の印刷物は、聖書を始めとする宗教書が半数近くを占めており、活版印刷による聖書の普及は、マルティン・ルターによる世界史における激動期、宗教改革にもつながっていったのでした。(第2回に続く)

編集後記  
第11号を購読頂き、誠に有り難うございます。ぜひ、感想やご要望(ご意見)が欲しい! (e-mail) がございましたら FAX・メールなどお待ちいたしております!! 最後までご覧頂き誠に有難うございました。

次回発行は  
平成二十四年十一月十日(予定) 予定しております。